

ダイヤモンドキーパーのケミカルを使用して、同等の効果を発揮!

クリスタルキーパーガラス

攻略ガイド

ダイヤモンドキーパーハイブリッドは5年間のコーティング効果を持たせるのに対し、クリスタルキーパーガラスは、1年間もしくはそれ以上のコーティング効果を発揮します。クリスタルキーパーガラスは、ダイヤモンドキーパーのケミカル（以下、ダイヤモンドケミカル）を「水で濡れた」状態のボディに塗布します。1時間30分程度の時間で完成（普通車クラス）する上、ガラス独特の深い艶・仕上がりの質感を保つ『1年耐久・ノーワックス、ノーメンテナンス』のボディガラスコーティングです。

Point 1 ポリッシャー（機械）は使わない

ダイヤモンドキーパーハイブリッドの施工は、ポリッシャーを使った軽研磨を行います（新車以外）。塗装面の凸凹をなくし、コーティング被膜の定着力を増して5年間しっかりとコーティング被膜を維持するのが目的です。しかし、「1年」耐久を目的としたクリスタルキーパーガラスでは、この作業を行う必要はありません。施工時間の大幅短縮が図れ、作業も簡単になります。

しかし、塗装面が荒れている場合や、お客様から微細傷を目立たなくして欲しいなどの要望があった場合には、ポリッシャーとファイナル1を使つたポリマータイプが適しています。あるいは、別料金で研磨作業をするのも良いでしょう。

Point 2 下地処理は爆白で水垢取り、必要に応じて鉄粉取り、ピッチ除去を行う

クリスタルキーパーガラスは、塗装が水で濡れたらままでダイヤモンドケミカルを塗布するため、一見、ピュアキーパーの作業に似ていますが、全く違う作業です。ダイヤモンドケミカルは塗布時に全く汚れを取らないため、事前の爆白による水垢取り、必要に応じて鉄粉取り、ピッチの除去を完全に行う必要があります。

Point 3 ダイヤモンドケミカルを水で濡れた塗装に直接塗布する

ダイヤモンドキーパーハイブリッドの施工は、5年耐久のため、乾いた塗装の上にダイヤモンドケミカルを塗布し、時間をかけて空気中の水蒸気と反応させ、ゆっくりと丈夫な被膜を形成します。

一方、クリスタルキーパーガラスは、ダイヤモンドケミカルを水で濡れた状態で塗り、直接水と接触させることによってケミカルの硬化反応を瞬間に行います。ダイヤモンドキーパーハイブリッドの被膜に比べると組織の密度が低くなり、被膜の強度と定着力が低下します。しかしながら、テストでは2年程度の耐久力になることが分かっており、「1年耐久」のクリスタルキーパーガラス

としては十二分な性能レベルを確保することができます。しかも水を使うため、ダイヤモンドケミカルがよく伸び、少量のケミカルでしかも作業が早くなります。

もうひとつ重要なことは作業環境をあまり選ぶ必要がないこと。水を使っての作業は、閉鎖された空間でなくても、砂やホコリなどで塗装を痛めることはありません。



Point 4 ガラス特有の透明感溢れる艶。だからこそ、丁寧な作業が求められる

クリスタルキーパーガラスは、ポリマーコーティングとは異質のガラス特有の透明感溢れる艶が得られます。新車にコーティングしてもその差がはっきり分かるほどです。

しかし作業が簡単なのでつい、いい加減な作業になりがちですが、クリスタルキーパーガラスは2万円近いお金を受け取り、1年以上の塗装保護効果と艶、撥水を持続させる高性能コーティングです。より隅々まで気を配った質の高い仕上がりを作り出さねばなりません。

Point 5 レジンの上塗りは、クリスタルレジンで



クリスタルキーパーガラスは、基本骨格が無機質のSiO₂でできたガラスボディコーティングです。ですから「水シミ」「雨シミ」「ウォータースポット」を防止するため、ダイヤモンドケミカルの作業

後、「クリスタルレジン」を塗布します。レジンはハイブリッドレジン、クリスタルレジン、いずれでもかまいません。

しかし、クリスタルレジンの性能で十分であり、作業性も良く、コストも下がるので「クリスタルレジン」の使用をおすすめします。

Point 6 1年経ったら再施工を行う

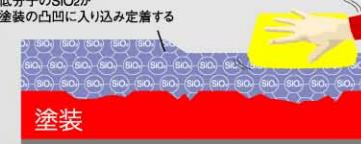
クリスタルキーパーガラスは、1年間ノーメンテナンスで1年後に再施工となります。

まず爆白で汚れを落とします。この時、1年経ったクリスタルキーパーガラスの被膜もほとんど落ちるため、その後、初回施工と同じ作業を行います。

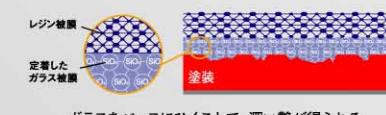
ダイヤモンドケミカルは他製品のガラスコーティングと違い、SiO₂がとても細かい低分子量（オリゴマー）の状態で存在するため、塗装の凸凹に根を張るように定着する（アンカー効果）特長があります。爆白で洗ったとしてもアンカーは残り、再施工時により強固なクリスタルキーパーガラスの被膜を作ることができます。

Point 7 有効なのはダイヤモンドケミカルだけ

◆クリスタルキーパーガラスのガラス被膜
低分子のSiO₂が塗装の凸凹に入り込み定着する



◆クリスタルキーパーガラスのハイブリッド構造



ガラスをベースにひくことで、深い艶が得られる。

他製品のガラスボディコーティングケミカルではSiO₂が構成している分子量がとても大きいので、本来はくっつかないはずの塗装に「シランカップリング剤」で強引にくっつけています。しかし塗装上が水で濡れているとシランカップリング剤

がうまく反応しないのでガラス被膜がきちんと定着しません。

一方、ダイヤモンドケミカルは先述の通り、オリゴマー状態のSiO₂を使ってアンカー効果で定着させるという方式をとっているので水で濡れた塗装にでも、うまく定着させることができます。

これはダイヤモンドケミカルのもっとも大きなメリットであり、唯一、水で濡れている塗装の上に耐久力のあるガラス被膜を形成することができるといえます。

Point 8 ダイヤモンドキーパーハイブリッドと同じ「ガラスの艶」

クリスタルキーパーガラスは、ボディガラスコーティング独特の「透明感のあるガラス特有の艶」が得られます。その効果はダイヤモンドキーパーハイブリッドと同等。しかし、その施工方法で被膜の強度が変わるので5年耐久（1年ごとのメンテナンス）と、1年耐久で繰り返す2種類のコーティングになるのです。

新車時施工の5年保証のポリマーコーティングに不信と不満が募っている現状でガラスの艶と1年耐久のクリスタルキーパーガラスが、お客様にとって現実味がある上に非常に魅力的な商品です。

Point 9 「自分で車を洗う人」に大きなコーティングの需要

アンケートによると日本全国の62%の大多数が「自分で車を洗っている人たち」です。洗車機洗車のユーザーは月間のボディケア予算がおおむね低く、むしろ「自分で車を洗っている人たち」に比較的大きなコーティング需要が見えます。クリスタルキーパーガラスは汚れが付きにくくなつて洗車回数が減るだけでなく、洗車時にもガラス特有の洗い心地が良い特長は、「自分で車を洗う人たち」にとって大きなメリットです。

SSにおいては洗車に来るお客様だけでなく、むしろ洗車をされないお客様にこそ「アピールチラシ」の配布などコーティングのアプローチが重要といえます。

作業時間短縮・1年間ノーメンテナンス!施工に自信がもてます!

「クリスタルキーパーガラス」スクール受講のご案内

「クリスタルキーパーガラス」は、お客様におすすめしやすく、またお客様の満足も得られる商品です。そのような商品だからこそ、一層きちんとした施工をすることでお客様の期待に応えなければなりません。

そこで、クリスタルキーパースクールの内容を一新し、車をまる1台使ってクリスタルキーパーガラスを施工し、自信を持ってもらうカリキュラムを作りました。もっと詳しく体験してみたいとご希望の方、社内スタッフトレーニングをご希望の方、ぜひこのスクールを受講してください。素晴らしい仕上がりでお客様に満足していただけるクリスタルキーパーガラスを、自信を持つて施工できるようになります。

詳しくは研修・検定スケジュールをご覧ください。



問合せ／アイ・タック技研(株) TEL.0562-45-5258